

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	資料係
■評価事業名称	図書資料整備事業		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	418100 - 002	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条、北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	市民の要望に応えられるよう、幅広く資料を収集する。一般書・児童書・映像資料・地域資料・逐次刊行物等を社会情勢、蔵書構成、市民ニーズを考慮しながら収集、整理、保存し、利用者に提供する。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	新聞・雑誌	市民ほか	新聞雑誌の購入	新聞雑誌閲覧用タイトル数 140種うち 雑誌スポンサー29種
02	図書	市民ほか	資料の購入(寄贈除)図書資料 冊映像資料 点雑誌 冊合計 点	資料購入(寄贈除)図書 7,255映像 72 雑誌 926 合計 8,253

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	13,553	13,454	13,741	13,662	
人件費	12,064	5,707	10,225	7,632	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	25,617	19,161	23,966	21,294	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	総貸出冊数	454,298冊	460,733冊	453,801冊	455,182冊	総貸出冊数
02	受入1冊当りコスト	1,520円	2210円	2,921円	2,580円	フルコスト÷購入冊数

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

03	貸出1冊当りコスト	56.388円	41.588円	46.923円	46.781	フルコスト÷総貸出冊数
04	受入冊数	8,763冊	8,670点	8,204点	8,253点	1年間の図書・雑誌購入冊数(新聞は除く)

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

各館毎に年度の収集目標を立て、計画的に資料の収集を行った。

### 問題点・課題等

資料単価が値上がり傾向にあり、今後購入冊数の減少が予測される。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

貸出冊数も伸び、市民のニーズは変わらずある。資料の充実が市民サービスに直結するものである。資料費を確保し、各館に合った蔵書を構築していく必要がある。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了